

10403312-001

○3年次演習関連科目 1-1 (現代経済学の基礎 1)

2単位/Unit 春学期/Spring 今出川/Imadegawa 講義/Lecture

Third Year Advanced Seminar 1-1 (Principles of Economics 1)

東 良彰

## &lt;概要/Course Content Summary &gt;

現代経済学の基礎1では、現代経済の諸問題で取り扱うテーマに必要な基礎的知識や経済理論の基本的枠組みについて演習形式で学ぶ。

## &lt;到達目標/Goals,Aims &gt;

1. 関連文献を収集して要点を整理したり、自らの関心に基づいて問題を提起したりする能力を養う。
2. マクロ経済学，ミクロ経済学，計量経済学の視点や分析手法について理解する。
3. ディスカッション，ディベート，プレゼンテーションの技術を磨く。

## &lt; DO Week 期間の初回動画等の配信/The delivery of the first video, etc. during the "DO Week" &gt;

なし/ Not deliver the video

## &lt;授業計画/Schedule &gt;

実施時期/Week	授業回/Number of Lesson	授業実施方法/How to Conduct a Lesson	授業実施時間数/Class Hours
	内容/Contents		
授業計画外の学習/Assignments			
第1週 DO Week		オンデマンド(動画視聴)/On-demand(watching video)	0分/min.
第2週	1	面接/Face-to-face	90分/min.
	家計の資産選択 講義内容の予習と復習		
第3週	2	面接/Face-to-face	90分/min.
	企業とファイナンス 講義内容の予習と復習		
第4週	3	面接/Face-to-face	90分/min.
	企業とガバナンス 講義内容の予習と復習		
第5週	4	面接/Face-to-face	90分/min.
	計量経済分析の基礎 講義内容の予習と復習		
第6週	5	面接/Face-to-face	90分/min.
	データ分析と因果関係 講義内容の予習と復習		
第7週	6	面接/Face-to-face	90分/min.
	マルサスの罠と経済発展 講義内容の予習と復習		
第8週	7	面接/Face-to-face	90分/min.
	日本の産業革命 講義内容の予習と復習		
第9週	8	面接/Face-to-face	90分/min.
	教育と技術革新 講義内容の予習と復習		
第10週	9	面接/Face-to-face	90分/min.
	日本の雇用慣行とワークライフバランス 講義内容の予習と復習		
第11週	10	面接/Face-to-face	90分/min.

	第4次産業革命		
	講義内容の予習と復習		
第12週	11	面接/Face-to-face	90分/min.
	経済体制と経済成長		
	講義内容の予習と復習		
第13週	12	面接/Face-to-face	90分/min.
	世界的なデフレ不況と紛争		
	講義内容の予習と復習		
第14週	13	面接/Face-to-face	90分/min.
	少子化とデフレ不況		
	講義内容の予習と復習		
第2～8週の間実施	14	面接/Face-to-face	90分/min.
	講義前半の振り返り等		
	講義内容の復習		
第9～14週の間実施	15	面接/Face-to-face	90分/min.
	講義後半の振り返り等		
	講義内容の復習		

受講学生の関心や理解度に応じて、探求する内容や順序を変更する場合があります。

授業実施方法/How To Conduct a lesson	授業実施時間数/Class Hours
面接/Face-to-face	1350分/min.
オンデマンド（動画視聴）/On-demand(watching video)	0分/min.
オンデマンド（授業内課題）/On-demand(assignment in class)	0分/min.
リアルタイム配信/Real-time online	0分/min.
その他/Others	0分/min.
総合計/Totlal Amount class hours	1350分/min.

#### 使用システム/System tools

e-class

#### <成績評価基準/Evaluation Criteria >

平常点(出席, クラス参加, グループ作業の成果等) 60%

クラス参加や発表等を通じた参加者への貢献度を重視する.

小レポート 40%

講義で取り上げる内容に関する理解度やレポート内容の独自性を評価する.

#### <参考文献/Reference Book >

第一回目の授業で指示する.

#### <連絡方法/Contact method >

##### 科目担当者への連絡方法/Contact method from student to instructor

eclassの「メッセージ」を通じて行う.

##### 科目担当者からの連絡方法/Contact method from instructor to students

eclassの「メッセージ」を通じて行う.